

## 年度評価シート（令和6年度）

課名 商業労政課

施設の名称 静岡市北部勤労者福祉センター	指定管理者名 公益財団法人まちづくり公社
<p>1 履行状況</p> <hr/> <p>(1) 目標達成          利用者満足度（職員対応）          目標値88%以上、実数値98%          （回答者数310人、「大変満足」「やや満足」と回答した人数304人）</p> <p>(2) 施設利用状況          利用者数          R6 実績値 64,320 人（前年度 61,407 人）（前年度比 104.7%）  <b>【参考】</b> 令和元年度（コロナ前）実績値93,193人、▲31.0%</p> <p>(3) 人員配置状況          仕様書に基づき適切な人員配置がなされている。          正規職員 2 人、嘱託員 2 人、パート 9 人</p> <p>(4) 事業実施状況          静岡市勤労者福祉センター条例第 18 条の規定に基づき、乙に条例第 22 条各号に掲げる北部勤労者福祉センターの管理について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。</p> <p>ア パソコン講座          （指定講座）37 講座、延受講者数 908 人          （自主講座）2 講座、延受講者数 4 人          初心者にもわかりやすいワード・エクセル入門講座、コロナ禍以降会議等で利用される Zoom 講座などを実施した。また、個人事業主等の支援として青色申告会が新たに推奨しているジョブカン会計教室を開催した。</p> <p>イ カレッジ講座          （自主講座）48 講座、延受講者数 2,846 人          ウクレレ（初心者）講座が堅調により 2 講座に分け受講生の受入を実施。愛唱歌においては、コロナ禍による定員を少なく、パート別として 2 講座にしていたが 1 講座に戻し時間も長くし、合唱練習が行えるようになり好評となった。</p> <p>ウ フィットネス講座</p>	

(指定講座) 36 講座、延受講者数 3,424 人

(自主講座) 146 講座、延受講者数 18,161 人

利用者・市民の意見を取り入れ、講座体験イベントを開催し好評となった講座を定期講座として開講したことで講座数・受講者増に繋がった。特にズンバ、ピラティス、ヨガの人气が高く、それらに関連する講座を中心に各講座とも堅調となった。

#### エ キッズ講座・ママベビ講座

(キッズ講座・自主) 32 講座、延受講者数 3,729 人

(ママベビ講座・自主) 21 講座、延受講者数 825 組

小学生から中学生の授業におけるダンス必須化により開講したキッズ講座のダンスは安定してニーズが高く好調となっている。加えてバレエも人気があり講座を増設したことで利用者数が大きく伸びた。

ママベビ講座は受講対象の性質上、受講期間(月齢など)が限定されるため定着率が低く申し込み数の変動が大きくなる傾向がある。

#### 【検証・分析等】

各事業において、市民・受講生のニーズ・意見を反映した事業展開を実施しており、講座受講者数は前年比で2,800名程増加しており、良好な状況であるといえる。

#### 【確認結果】

○：協定書の内容が適正に履行されている。

### 2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)

#### 【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見等：ランニングマシン利用者が共用として設置してある工場扇を自分だけにあたるように固定して使用しているとの苦情が他の利用者よりあった。

対応：共有物であるため独占しないよう依頼した。また、暑い場合は職員に声をかけて空調の設定温度を下げるよう声を掛けてもらうよう案内した。

意見等：施設正面の駐車場18番において枠内の舗装の一部が剥がれて段差が出来ているとの報告があった。

対応：当該箇所をアスファルトで補修した。

#### 【検証・分析等】

細かな要望が多いが、どれも真摯に対応している。

#### 【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

### 3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者に対し、職員の対応の満足度の調査を実施（目標と同内容）  
利用者満足度（職員対応）  
実数値98%  
（回答者数310人、「大変満足」「やや満足」と回答した人数304人）

【検証・分析等】

利用者の施設サービス満足度は高い。

【確認結果】

○：調査の結果は良好である。

(2) 市民アンケート

施設の利用者に限定せず、一般市民を対象として、外部団体主催のイベントにて施設の認知度に対する意見等を求める調査を実施。

ア 対象者

市内4か所（開催地：駿河区2か所、清水区2か所）で開催されたイベントの参加者499人

（対象者居住地：葵区18.6%、駿河区26.9%、清水区33.9%、市外・県外計20.6%）

イ 当該施設を知っていると回答した人

116人（回答者総数499人、23.2%）

【検証・分析】

市民アンケートでは、施設の認知率は23.2%に留まったが、対象者の居住地が清水区は33.9%、駿河区は26.9%に対し、葵区在住の市民が18.6%であったことを勘案すると、概ね良好な結果であったと評価できる。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

収入状況は穏やかに回復の兆しを見せているが、勤労者福祉施設におけるパブリックコメントでのフィットネス場・教室廃止案などにより、年度途中での伸び悩みがあり前年度と同等程度となった。

支出状況では、最低賃金の上昇などによる人件費及び電気料等における光熱費の増加がみられたが、消耗品や委託料の抑制、自主事業における収支改善により全体としての収支状況は前年より若干ではあるが改善している。

**【確認結果】**

○：指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。なお、市による勤労者福祉施策の見直し検討がされていることから、新規・既存利用者等へのアプローチが行えない状況及び人件費・光熱費・物価高騰による経費負担の増加により引き続き厳しい状況が続いているが、支出の抑制を行うと共に自主事業での収支改善が行われており、更なる改善に期待したい。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

**【検証・分析等】**

施設の管理運営については、事業計画等に基づき適切に実施され、施設設備の経年劣化による故障等においても迅速に対応し、施設は良好な状態に管理されている。また、講座運営においても受講者、市民ニーズを反映した内容としており、受講者の満足度も高く、総括して良好な施設管理運営がされている。

**【評価結果】**

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。